

## クイック・スタート・ガイド

本書は、WebSphere eXtreme Scale ライセンス・プログラムのインストールおよび簡単なアプリケーションの実行を始めるときに参照していただくガイドです。

各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、製品 DVD から PDF ファイルを印刷してください。ファイルは `dvd_root/quickstart` ディレクトリーにあります。

### 製品の概要

IBM® WebSphere® eXtreme Scale は伸縮性および拡張性のある、メモリー内のデータ・グリッドで、値あるいはグラフをキーによりアドレス可能な方式で保管します。アベイラビリティの要件に応じて、データ・グリッドに保管するデータの複製を作成でき、データベース統合を実現することができます。

WebSphere Application Server および WebSphere Application Server Network Deployment の既存のインストール済み環境に、WebSphere eXtreme Scale を統合することができます。また、本製品をスタンドアロン環境でインストールすることもでき、これは Java™ Platform, Standard Edition アプリケーション環境と Java Platform, Enterprise Edition アプリケーション環境の両方でサポートされます。

### 1 ステップ 1: ソフトウェアのアクセス



製品をパスポート・アドバンテージ (Passport Advantage®) からダウンロードする場合は、ダウンロード文書 (<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24034951>) に記載されている指示に従ってください。

この製品オファリングのメディア・バックには、以下が含まれます。

- IBM WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.6.0.2 (32 ビットまたは 64 ビット)

### 2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



詳細なシステム要件の資料 (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/prodguid/v1r0/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProductByComponent?deliverableId=1315276626905&duComponent=Server>) を参照してください。

### 3 ステップ 3: 資料のアクセス

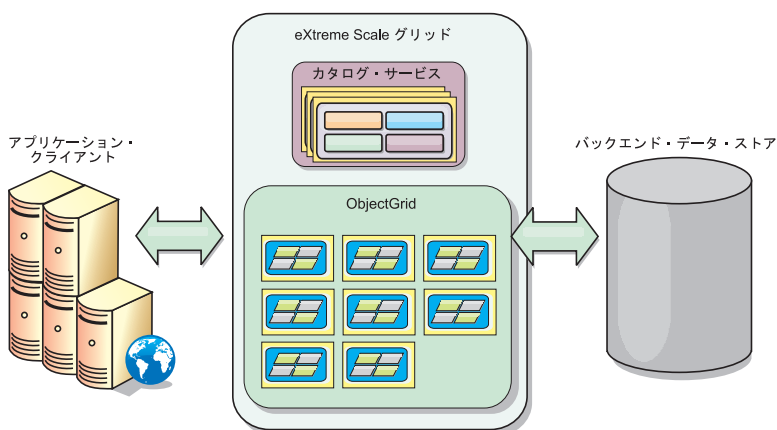


インストールの説明書を含む、完全な資料については、WebSphere eXtreme Scale 製品資料 (<http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/extremescale/library/>) を参照してください。

### 4 ステップ 4: eXtreme Scale アーキテクチャーの検討



以下の図は、WebSphere eXtreme Scale の、分散されたコヒーレントなキャッシュ環境を示しています。追加のトポロジー・ダイアグラムは、インフォメーション・センターで入手できます。



## 5 ステップ 5: 製品のインストール



WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.6.0.2 は、Java Platform, Enterprise Edition 環境または Java Platform, Standard Edition 環境でインストールおよびデプロイすることができます。 WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.6.0.2 は、.NET 環境にもインストールおよびデプロイすることができます。

**Java 環境にインストールするには、以下のようにします。**

- IBM Installation Manager のダウンロードとインストール: Installation Manager は、製品メディア上で使用可能なファイルや、パスポート・アドバンテージ (Passport Advantage) のサイトから入手したファイル、あるいは [http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/Recommended\\_fix/Software/Rational/IBM\\_Installation\\_Manager](http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/Recommended_fix/Software/Rational/IBM_Installation_Manager) からのファイルを使用して、インストールすることができます。
- 適切な製品リポジトリを Installation Manager にダウンロードしてインストールします。 [http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r6/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/txs\\_obtain\\_IM.html](http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r6/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/txs_obtain_IM.html) を参照してください。スタンドアロン環境の製品オフファリングには IBM Runtime Environment for Java Technology Edition バージョン 7.0 サービス・リリース 2 が含まれます。ランタイム環境は `install_root/java` ディレクトリにあります。詳しくは、インフォメーション・センター (<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r6/index.jsp>) で WebSphere eXtreme Scale のインストールについての情報を参照してください。

**.NET 環境にインストールするには、以下のようにします。**

- システム要件を確認します。 <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r6/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/cxsadmhref.html> を参照してください。
- WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.6.0.2 をインストールします。 [http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r6/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/txs\\_installing\\_net\\_xs.html](http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r6/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/txs_installing_net_xs.html) を参照してください。

## 6 ステップ 6: サンプル・データ・グリッド・アプリケーションの実行によるインストール済み環境の検証



以下のステップに従って Java プラットフォーム環境における WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.6.0.2 スタンドアロン・インストール済み環境を検証することができます。

1. コマンド・ラインで、開始用 (getting started) ディレクトリ (`cd install_root/ObjectGrid/gettingstarted`) を開きます。
2. `startcat.sh|bat` スクリプトを実行してカタログ・サービス・プロセスを開始します。
3. `startcontainer.sh|bat server0` スクリプトを実行してコンテナ・サーバー・プロセスを開始します。
4. クライアントを対話モードで実行します。 `runclient.sh|bat`
5. 1 フェーズ・コミット・トランザクションを開始します。 `begin` を実行します。
6. グリッドにデータを挿入します。 Enter a command: `i key1 value1`
7. 挿入したばかりの値を取得します。 `> g key1`
8. `key1` 値を更新します。 `> u key1 goodbyeWorld`
9. 値をコミットします。 `> commit`
10. `key1` 値を削除します。 `> d key1`

```
SUCCESS: Deleted value with key TestKey [key=key1], partitionId=6
```

以下のステップに従って .NET 環境における WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.6.0.2 スタンドアロン・インストール済み環境を検証することができます。

1. コマンド・ラインで、開始用 (getting started) ディレクトリを開き、 `SimpleClient.exe` を実行します (`cd net_client_home\gettingstarted\bin\SimpleClient.exe file`)。
2. 1 フェーズ・コミット・トランザクションを開始します。 `> begin` を実行します。
3. データ・グリッドにデータを挿入します。 `> a key1 value1`
4. 挿入したばかりの値を取得します。 `> g key1` この例では、 `value1` が戻されます。
5. `key1` 値を更新します。 `> p key1 value2`
6. `key1` 値を削除します。 `> d key1`
7. 値をコミットします。 `> commit`

## 追加の情報



製品 DVD に収納されている WebSphere eXtreme Scale インストール資料および README ファイルを参照してください。 README ファイルは `dvd_root` ディレクトリに入っています。 インストール資料は `dvd_root/docs` ディレクトリに入っています。

